



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミナト・アドバンス・テクノロジー工場新築工事(仮称)	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市都筑区南山田町4103番1の一部、4113番3	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年07月 予定	評価の実施日	2022年11月01日
敷地面積	2,937㎡	作成者	藤江通昌
建築面積	1,650㎡	確認日	2022年11月07日
延床面積	2,912㎡	確認者	若山 健彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能:T-2以上。そして、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ガルバリウムダクトを使用している。そして、階高:4.0m。また、0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> 採光利用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS使用している。そして、ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が94%。そして、燃焼機器を使用しません。また、光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



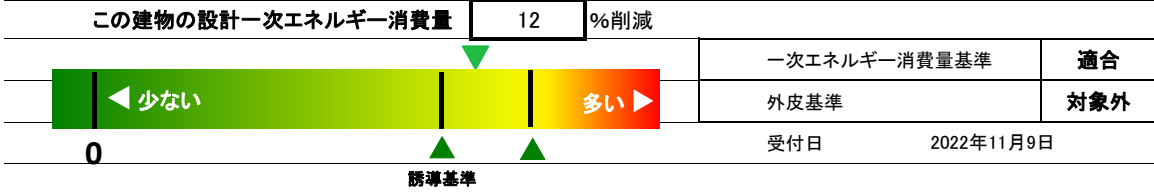
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ミナト・アドバンス・テクノロジーズ工場  
新築工事(仮称)**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

②採光利用。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩照度が500lx以上1000lx未満。

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯ガルバリウムダクトを使用している。

⑰給水SUS(C)、排水VP(B)、消火SGP(C)。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 スマートハウス・テクノロジー新築工事(仮称)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.4</b>	0.15	-	-	-	-	<b>3.4</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音		<b>4.2</b>	0.40	-	-	-	-	-
1 1 開口部遮音性能		5.0	0.60	-	-	-	-	-
2 2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	-	-	-
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	-	-	<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	-
1 1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-	-	-
2 2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.60	-	-	-	-	-
2 2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-	-	-	-
3 3 昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	<b>4.0</b>	0.15	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	-	-
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	-
1 1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	<b>4.0</b>	1.00	-	-	-	-	-
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	-
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	-
1 1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	-	-	-	-	<b>2.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	-
1 1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		<b>2.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.33	-	-	-	-	-
3 3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-	-	-
1.3 維持管理		<b>2.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-	-	-
2 2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	-
1 1 耐震性	防災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-	-	-
2 2 免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.2</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	-
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-	-	-
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-	-	-	-
6 6 主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 信頼性		<b>2.4</b>	0.20	-	-	-	-	-
1 1 空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 2 給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	-
3 3 電気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
4 4 機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	-
5 5 通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.4</b>	0.30	-	-	-	-	<b>3.4</b>
3.1 空間のゆとり		<b>4.6</b>	0.30	-	-	-	-	-
1 1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-	-	-	-
2 2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	-
1 1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2 2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	-	-
4 4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	-	-
5 5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	-
6 6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7

ビル・プラント・テクノロジー系 新築工事(仮称)

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
						<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								
<b>LR1 エネルギー</b>								
1 建物外皮の熱負荷抑制								
1.1 省エネルギー性能	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.13	-	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.6	0.63	-	-	-	2.6
4 効率的運用								
4.1 集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-
4.1 集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>								
1 水資源保護								
1.1 節水			2.2	0.20	-	-	-	2.2
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-	3.7
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	-	-
3.2.1 消火剤			-	-	-	-	-	-
3.2.2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-	-	-
3.2.3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>								
1 地球温暖化への配慮								
1.1 地球温暖化への配慮			3.2	0.33	-	-	-	3.2
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制								
2.3.1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								
3.1.1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-
3.1.2 振動			-	-	-	-	-	-
3.1.3 悪臭			-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.40	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-
3.2.3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制								
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	-	-
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-

上記以外の重点項目								
<b>&lt;事務用途&gt;</b>								
知的生産性向上への取組								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-